

## 台湾ジョイントシンポジウム参加報告書

連合獣医学研究科博士課程 1年 長田奈緒

2017年2月に台湾の中興大学において開催されたジョイントシンポジウムに参加し、自分の研究について口頭発表する機会を得た。現地ではアジアを中心として様々な獣医大学の教員や獣医学生の口頭発表やポスターを見ることができ、様々なキーノートレクチャーでも多分野にわたる研究の最前線の知識や研究過程を知ることができた。また本シンポジウムでは、日本からは東の連合獣医学研究科の大学院生と私の所属する西の連合獣医学研究科の大学院生が交流を得られる貴重な機会も得られた。

私自身の成果としては口頭発表でベスト・プレゼンテーション賞を頂くことができ、非常に嬉しく今後の励みとなる成果であった。今回のシンポジウム参加と口頭発表を希望した理由の一つとして、自分の現在行っている研究テーマが中国・韓国・日本で発生しているウイルス感染症であるため、同じアジアで研究されている他大学の先生方や学生と議論を行ういい機会であると思ったからである。そして結果として口頭発表ではいくつかの質問をしていただけ、今後の自分の研究とも繋がるアドバイスを得ることができたため、当初の参加目的は十分に果たされたと考えている。また個人的な学術面だけではなく、久々の再会を果たした他の連合獣医学研究科の大学院生の研究の進捗状況や学生生活などの交流も行うことができ、今年の夏にゼミナールで再会する際には、今回よりもさらに充実した研究内容を披露し合おうと互いを高められる有意義なシンポジウムであった。

海外のシンポジウムにおいて英語で意思疎通や口頭発表を行うことは苦難も伴うが、同時に得られるものも非常に大きく、参加することは価値の高い貴重な機会である。また今回の参加をきっかけとして、国際学会へもいつか参加したいと強く思うこともできた。シンポジウム全体を通して、中興大学の先生方や学生の方々のきめ細やかな対応と、最終日のガラ・ディナーでの楽しいパーティを開催していただき、非常に満足した2日を過ごすことができ、心から感謝している。